

親はつねに正確な言葉で

幼児は、サシスセソをタチツテトまたはチャチチュチェチヨに、ラリルレロをダジヅデドに発音します。たとえば、「お父さん」は「おとーたん」、「ラジオ」は「ダジオ」と発音します。これは発声器官が未発達のために起こるもので、そのように発音したくてしているのではありません。ですから、手本になる親が、子どもの発音に合わせて「おとーたんと遊ぼうね」などと言うのは全くの見当ちがいですし、子どもの発声器官の発達を遅らせることになります。

総じて幼児語は使わないことです。「おくちゅ」でなく「くつ」、「でんちゃ」でなく「でんしゃ」というふうに、すべて正しい言葉で話しかけ、幼児の録音装置に、あとで訂正を必要とするような吹きこみはしないことです。